

# JAPIC NEWS

**JAPIC**  
Japan Pharmaceutical Information Center

一般財団法人 日本医薬情報センター

今月の表紙 ぼいんせちあ



## Contents |

### ■ 巻頭言

「健康長寿社会の実現に向けた関西からの挑戦

～協会ビジョンの策定と“関西医薬品協会”としてのスタート」

大阪医薬品協会 会長 土屋 裕弘 … 2

### ■ インフォメーション

「日本の新薬—新薬承認審査報告書集—」第80～87巻を発刊しました

新成分・効能追加・新用量・新剤形など全ての申請内容を掲載!! …… 4

薬系大学・医系大学4年生向けに

JAPIC「医療用・一般用医薬品集2018 CD-ROM」を無償提供! …… 5

### ■ 連載コラム

～AMEDにおける創薬などの支援の取組について～

「part.4 医薬品の連続生産技術開発の支援について」

日本医療研究開発機構 創薬戦略部医薬品研究課 松永 明夫 … 6

### ■ コラム

くすりの散歩道 No.115 「マインドフルネス ～瞑想～」

(一財)日本医薬情報センター 事務局 業務・渉外担当 北山 由佳 … 8

### ■ トピックス

「平成29年度JAPIC-Qサービスユーザ会」を開催しました! …… 9

年末年始休業のお知らせ …… 9

外国政府等の医薬品・医療機器等の安全性に関する規制措置情報より—(抜粋) …… 10

■ 図書館だよりNo.330 情報提供一覧 …… 11

# 12

2017 | No.404

## 健康長寿社会の実現に向けた 関西からの挑戦

～協会ビジョンの策定と“関西医薬品協会”としてのスタート

大阪医薬品協会(※) 会長  
土屋 裕弘 (Tsuchiya Michihiro)

※平成30年1月から「関西医薬品協会」に名称変更



医薬品関連産業は、知識集約型、省資源・省エネルギー型の高付加価値産業として健康寿命の延伸に重要な役割を担うと共に、経済成長を牽引する中核産業の一つとしても期待されていますが、一方で、高齢化や医療の高度化による医療費増加から薬剤費抑制策が進められており、加えて創業の難易度が高まっていることもあって、医薬品関連産業を取り巻く環境は、非常に厳しい状況にあります。

さらに、関西に目を向けると、東京一極集中が進む中、経済の地盤沈下が指摘されて久しく、その対応が喫緊の課題となっています。

大阪医薬品協会(略称:大薬協)は、関西を主にベースとして活動する医薬品メーカー(先発医薬品、ジェネリック医薬品、OTC医薬品)、受託製造、研究開発支援サービスなど様々な医薬品関連企業(加盟会社314社:平成29年10月現在)から構成される地域団体です。来年7月には、創立70周年を迎える長い歴史があり、理事会のもとに、4委員会・6研究会による「委員会・研究会活動」と「事務局活動」を両輪として、所管官庁である厚生労働省、大阪府をはじめとする行政とは緊密な連携のもと、業界の当面する諸問題に取り組んでいます。このような中で、医薬品は、単なる錠剤などの「モノ」ではなく、品質や有効性、安全性といった、さまざまな「情報」が一体化され、疾病を治療することによって初めて、医薬品としての価値が生まれます。医薬品は、「知識・技術・情報・知恵の集積体」であり、そういう意味で医薬品関連産業は情報産業であると言えます。

従って、上述のような我々を取り巻く環境の変化に対応し、健康長寿社会の実現に貢献していくためには、医

薬品だけでなく、これまで以上に広範な情報の収集力・提供力を強化・充実すると共に、情報に対する感受性を高め、その背景を明確にする必要があります。このように、付加価値の高い情報を広く共有することが、社会の要請に応え、存在感のある協会としてあるべき姿と考え、今後、当協会が向かう方向を示すビジョンを本年9月に策定しました。

関西には、「くすりのまち」道修町に代表される医薬品関連産業の集積のほか、生命科学の最先端の研究を行うアカデミア、クラスター等の集積、創業支援・相談を行うAMED創業支援戦略部やPMDA関西支部の設置、医薬品関連産業振興に向けた地方自治体・関係団体の積極的な取り組みなど、以下に列記する「関西の強み」があります。ビジョンでは、地域団体として、この「関西の強み」をいかに活用するかが重要と考え、改革の手段の中心におきました。

### 医薬品関連産業に係わる主な関西の強み

- ▶「くすりのまち」道修町に代表される医薬品関連産業の集積
- ▶ 独創的かつ高度な技術を有する「ものづくり企業」の集積
- ▶ 生命科学の最先端の研究を行うアカデミア、クラスター等の集積と連携
- ▶ 創業等の手段として期待される世界最高水準の科学技術基盤の集積
- ▶ アカデミア・企業を行う創業の支援や開発相談を行う機関の集積
- ▶ 医薬品関連産業振興に向けた地方自治体や関連団体の積極的な取り組み
- ▶ 海外と、「人」「もの」「情報」が集まり、交流してきた歴史ある地域
- ▶ 関西国際空港等、医薬品等の輸出入に係わる国際物流拠点

本ビジョンの構成は、「基本理念」を頂点とし、以下「設立目的」、「2025年の未来像」、「未来像を具現化する基本戦略及び戦術」の4項目で構成されています。

「基本理念」では、「医薬品関連産業の健全な発展を通じて、健康長寿社会の実現に貢献する」ことを掲げるとともに、「設立目的」では、「地域団体としての関西の強みを活かし、会員をはじめとする様々なステークホルダーとの緊密な連携、相互理解及び啓発によって会員共通の利益を増進する」ことで、「基本理念」を達成することを目的としています。

2025年は、団塊世代が全員後期高齢者となり、日本人の3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上という超高齢化社会を迎え、持続可能で質の高い医療提供体制の制度設計を考える上で象徴的な年です。医薬品関連産業でも、それまでに様々な体制整備が必要となります。このためビジョンでの未来像を2025年に設定しました。

当協会では、「2025年の未来像」として、「基本理念」である健康長寿社会の実現に向け、「関西の強みを活かして、日本の医薬品関連産業をリードする」地域団体を描きました。少々大袈裟な表現ではありますが、関西が一体となって連携・活動し、健康長寿社会の実現に向けた様々な提案や取り組みを関西から日本全国に、そして世界に発信していきたいとの思いを込めたものです。これを受けて、ビジョンのサブタイトルも「健康長寿社会の実現に向けた関西からの挑戦」としました。

### 健康長寿社会の実現に向けた関西からの挑戦



「2025年の未来像」である「関西の強みを活かして日本の医薬品関連産業をリードする」地域団体となるための具体的な行動として、次に述べる5つの柱 ◆ 提案力（国、地方自治体等への積極的な政策等の提言とその実現による競争力のある健全な医薬品関連産業の成長への貢献）、◆ イノベーション（関西の強みを活かした健康医療分野での戦略的な取り組みによるイノベーショ

ンの促進、健康長寿の延伸への貢献）、◆ グローバル化（国際ビジネス活動の支援による医薬品関連産業のさらなるグローバル展開の推進）、◆ 魅力ある協会（会員会社の多様なニーズや様々な課題に応えることによる魅力ある協会活動の実施）、◆ 社会からの信頼（生命関連製品を取り扱う産業の地域団体として、コンプライアンス徹底等のたゆまぬ努力による社会からの高い評価・信頼の獲得）を設定し、それらを具現化する戦略・戦術を策定しました。

### 2025年の未来像



未来像の実現にあたっては、ビジョン実現タスクフォースを設置し、委員会・研究会などと連携し、中期事業計画（前期：2020年度まで、後期2025年度まで）を策定・実施することとしています。

本ビジョン策定に併せて、関西を基盤とする活動をさらに強化するという方針に基づき、以下の理由により2018年1月1日より当協会の名称を大阪医薬品協会から関西医薬品協会（略称：関薬協）に改めることとしました。○ビジョン策定に併せた名称変更は、協会の今後の方向性と合致し、対外的に協会が大きく変わることをアピールし、ビジョン実現に向けた活動の大きな弾みとなる。○「大阪」から、京都、兵庫（神戸）などを含む「関西」に変更することで、対外的な存在感、発言力を高めることになる。○行政、経済団体、アカデミアでは、これまでの府県の枠組みを超えた協力関係が構築中で、こうした動きに対応できる。

今後、当協会は、「関西医薬品協会」という新しい名称のもと本ビジョンの実現に向けて着実に活動し、健康長寿社会の具現化に取り組んでまいりますので、一層のご支援ご協力を賜りますようお願いいたします。

## 「日本の新薬—新薬承認審査報告書集—」 第80～87巻を発刊しました 新成分・効能追加・新用量・新剤形など全ての申請内容を収載!!

我国の医薬品は厚生労働大臣の名のもとに製造販売の承認がされます。当該医薬品の審査経過、評価結果等を取りまとめ、「審査報告書」および「審議結果報告書」が作成されます。「審査報告書」は独立行政法人医薬品医療機器総合機構が、「審議結果報告書」は厚生労働省が作成し、承認後は医薬品医療機器総合機構ホームページより速やかに掲載することとし、申請資料概要とともにWeb上で公開されています。

「日本の新薬-新薬承認審査報告書集-」は、旧国立医薬品食品衛生研究所医薬品医療機器審査センターおよび独立行政法人医薬品医療機器総合機構で行われた新医薬品の承認審査の報告書（以下審査報告書）をまとめて編集したものです。各巻とも訂正のある報告書については、本文中に修正前と修正後がわかるように編集しています。今回、平成28年1月から12月までに公表された96品目の審査報告書について、承認年月順にまとめ、80巻から87巻に収録し発刊いたしました。

審査報告書は少なくとも新薬の承認時において、批判的判断が加わった最も信頼のおける資料です。本書を今後の新医薬品の開発の計画と実行、薬事対応に役立てていただければ幸いです。また、臨床試験における副作用に対する考え方や判断のポイントなど、添付文書やインタビューフォームではわからない情報もあり、市販後調査部門や医療機関においても重要な情報（判断を伴った）が満載です。さらに、医薬品にはどのような試験が必要か、その手順など医学・薬学教育においても参考にしていただけるものと確信しております。

新薬承認審査の際の参考資料として、また大学の医薬品情報およびレギュラトリーサイエンス教育用の教材・資料として、是非ご利用ください。

■価格 1～87巻 各巻：22,000円（税別）・B5版

80～87巻セット：88,000円（税別）

全87巻セット：957,000円（税別）

※上記価格とは別に、JAPIC維持会員様向けの割引価格をご用意しております。

■お問合せ先 事務局 業務・渉外担当（TEL：0120-181-276、FAX：0120-181-461）



## 薬系大学・医系大学4年生向けに JAPIC「医療用・一般用医薬品集2018 CD-ROM」を無償提供!

教育支援の一助として、本年度も11月上旬に「JAPIC医療用・一般用医薬品集2018 CD-ROM」を無償提供いたしました。毎年、薬系大学及び医系大学4年生向けにCD-ROMのご希望数を伺っております。本年度は薬系大学68校に約12,500枚、医系大学67校に約8,200枚以上のCD-ROMを送付しました。

本事業は3月発行の「日本の医薬品構造式集」の無償提供同様毎年実施しており、本年で13年目となります。「日本の医薬品構造式集」は、薬系大学の新1年生向けに約14,000冊を無償提供しております。

医療現場において次世代を担う学生への教育支援として公益事業の一環で実施しており、教育現場で広く有効に利用されているとのご報告をいただいております。このような事業を継続できますのもJAPIC会員の皆様のご支援の賜物と感謝しております。



Windows版  
JAPIC医療用・一般用医薬品集2018  
CD-ROM

### 収録内容

- ・医療用医薬品集
- ・一般用医薬品集
- ・薬剤識別コード一覧
- ・薬価情報
- ・先発品・後発品の全情報
- ・添加物情報
- ・医療用医薬品の最新添付文書画像 (PDF) の表示機能付き  
(無料: 要インターネット接続。PDFは医療用医薬品は毎週更新、  
一般用医薬品は月1回更新。)



日本の医薬品構造式集

医薬品の安定性、溶解性などの化学的特性、薬効・薬理が示唆され容易に類似化合物の類推ができる、構造式約1,300成分を一覧化。薬剤師はじめ化学、薬学領域の学生研究者にとって不可欠な内容です。

## ～AMEDにおける創薬などの支援の取組について～

### part.4 医薬品の連続生産技術開発の支援について

日本医療研究開発機構 創薬戦略部医薬品研究課  
松永 明夫 (Matsunaga Akio)

日本医療研究開発機構 (AMED) の医薬品研究課の事業について連載してきたが、今回は、創薬基盤推進研究事業について紹介する。

この事業は、革新的な医薬品の創出を目指して、創薬の基盤技術に係る研究を推進している。具体的には、①新薬候補物質の効率的な選定に資する研究や、医薬品の開発過程を迅速化・効率化するための研究を推進する研究、②産学官共同創薬研究 (GAPFREE)、③薬用植物の新たな育種・栽培・生産技術等に関する研究を推進している。

当研究事業は多彩な課題を扱っているが、今回は連続生産 (連続合成、フロー合成) について取り上げる。

複雑な化学構造の物質が多い医薬品の製造は、従来からバッチ生産で行われることが殆どである。しかし、最近の研究で、連続生産に適した触媒、装置等の技術を用い、医薬品原体の製造に応用する例が現れてきた。

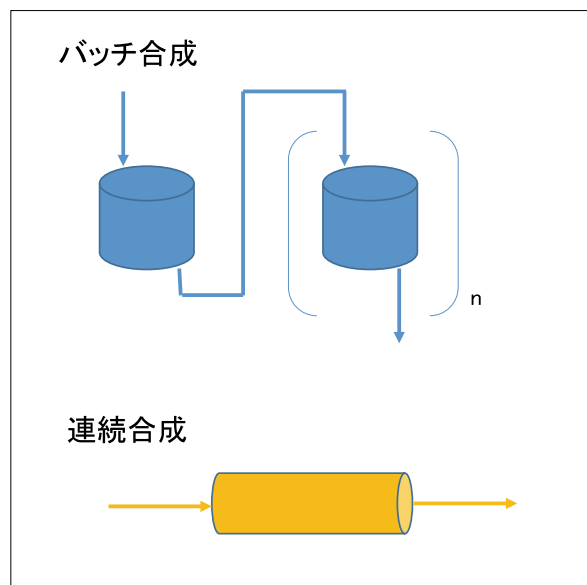
#### 1. 連続生産 (医薬品 (原薬)) の製造

従来からのバッチ生産では、一度決めた反応容器の大きさに応じた製造をすることになる。付属する設備も多く、更に複数の原薬の製造に同じ設備を用いるためには切り替えのバリデーション等も負担となりうる。

それに対して連続生産は、原料を反応容器 (カラム等) の一端から連続的に投入して生成物を他端から連続的に得る方法が主体となるだろう。石油化学工業等では既に用いられている技術であるが、複雑な化学構造を有する有機化合物の合成に用いることは困難であると考えられてきた。

連続生産を医薬品に適用したとき、適切に触媒を選択することで、反応効率の向上、廃棄物の削減等の製造手法の革新につながりうる。さらに、設備の簡略化や省スペース化が実現する。需要に応じた製造のスケールアップ・ダウンが反応容器 (カラム等) に通す原料の量で調節できる。カラムを交換すれば比較的容易に少量多品種の製造に対応できる等のメリットが生じるであろう。これは製造業として国際競争に必要な基盤技術ともなりうる。

(図)バッチ生産、連続生産



(図説明) バッチ生産では、工程ごとに分離・精製等が付随することが多いが、連続生産では、1つの反応容器 (カラム等) を通すごとに1つの反応を進めることも可能となりうる。

#### 2. バイオ原薬、製剤における連続生産

バイオ医薬品についても、細胞培養・分離・精製やウイルス除去等の工程の連続生産が可能と考えられている。製剤についても連続生産が可能である。

#### 3. 当事業の現在の状況

平成29年度における連続生産の課題として次の2課題を採択した。

- ・フロー精密合成を志向した高機能不均一系触媒の開発 (東京大学)
- ・マイクロフロー技術を駆使する高収率・省スペースかつ低コストな革新的ペプチド合成法の開発 (東京工業大学)

既に当事業の別課題で採択済の次のフロー合成の課題と合わせ3課題が実施されている。

・技術供与のため、光フローハロゲン化技術の高度化実用化を目指した研究（富山化学工業株式会社）（平成28年度 創薬基盤推進研究事業「研究開発支援型創薬ベンチャー支援プロジェクト」）

#### 4. 関連情報

##### 1) 国内

医薬品・医療機器総合機構（PMDA）では規制等の立場から連続生産に関心を持って研究を行っている（\*）。

（\*）AMED医薬品等規制調和・評価事業 平成28年度 医薬品の連続生産における品質保証に関する研究「連続生産に関するPoints to Consider」文書

##### 2) 海外

米国FDAでは製剤の連続生産化した2品目を既に承認している。

- ・2015年7月嚢胞性繊維症治療薬ルマカフトール
- ・2016年4月HIV-1感染症治療薬ダルナビル

##### 5. まとめ

今回は連続生産について説明してきたが、当事業では引き続き創薬基盤技術としての研究に注目していきたい。

# くすりの散歩道 NO.115

## マインドフルネス ～瞑想～

(一財)日本医薬情報センター 事務局 業務・渉外担当  
北山 由佳 (Kitayama Yuka)



最近耳にすることが多くなった「マインドフルネス」。どこかで聞いたことがある方も多いのではないのでしょうか。

「マインドフルネス」は、自分の身体や気持ちの状態に気づく力を育む「心のエクササイズ」で、その方法のひとつとしてよく用いられるのが「瞑想」です。

「瞑想」と聞くと、座禅を組んで肩をバシって叩かれたりするあれかしら？などと想像される方もいらっしゃるかもしれませんが、今回ご紹介するのは、寝転がっていても、座っていても、立っていても、歩いていてもできる「瞑想」です。

太陽が昇り～沈み、月が出て～消えて、私達の都合なんてお構いなしに今日、明日、明後日と忙しい日々飲み込まれていく…。嫌でも何でも日常生活を送らなくてははいけない。でも日常生活の中には大なり小なりストレスがつきもので、ストレスが溜まると心に余裕がなくなってしまい、ちょっとしたことで大きな負担に感じて心が疲れていく。でも「マインドフルネス」で頭をからっぽにしてリセットすることができれば心に余裕が生まれ、心に溜まっている重しが少しずつでも軽く感じられるようになっていくそうです。ではその方法とは？

みなさんは無意識に呼吸をしていますよね。その呼吸に全意識を持っていくのです。息を吸う時は「肺が風船のように膨らんでいく～膨らんでいく～膨らんでいく～」と意識する。息を吐く時は「肺が小さく縮んでいく～、縮んでいく～、縮んでいく～、縮んでいく～」と息が押し出される感じを意識する。すると無意識に腹式呼吸になり、横隔膜を使って息を吐き切れるようになっていきます。呼吸と言うと吸う方を意識してしまいがちですが実は吐く方が大切ですので、息を吐く時はできるだけゆっくり吐けると効果がアップします。とは言え、ゆっくり吐くというのはなかなか難しいことですから、慣れるまでは無理をせず自分のペースで呼吸して（息を吐いて）くだ

さい。繰り返すうちに徐々にゆっくり呼吸（息を吐くことが）できるようになり、体の隅々、先端まで新鮮な空気（酸素）が行き渡るようになります。「瞑想」（呼吸）の時間は3分～10分くらいで十分だそうです。

肺が風船のように膨らんでいく～（息を吸う）  
肺が小さく縮んでいく～（息が押し出される）

この言葉とイメージをひたすら頭の中で繰り返していると頭の中がからっぽになっていきますが、呼吸、呼吸と思えば思うほど他のことがいろいろと頭を過ってしまうものです。でも心配はご無用。今、私は他のことを考えている、これが“雑念”というものなのだとして認識だけして呼吸に集中を戻していけば良いのです。雑念だと認識することで雑念というカテゴリーができ、その結果徐々に雑念が現れにくくなっていきます。

慣れないうちは静かな少し暗めの部屋で座るか寝転がって目をつぶって「瞑想」（呼吸）すると、呼吸に集中しやすいですよ。慣れてしまえば電車に乗っている時でも、信号待ちでもいつでもどこでも「瞑想」（呼吸）できるようになります。「瞑想」（呼吸）を繰り返すうちに穏やかな気持ちになれますから、是非お試しください！

肺が風船のように膨らんでいく～  
膨らんでいく～  
膨らんでいく～

肺が徐々に小さく縮んでいく～  
縮んでいく～  
縮んでいく～  
縮んでいく～

只々、呼吸に集中する。  
マインドフルネス ～瞑想～  
心への優しいお薬です。





# 外国政府等の医薬品・医療機器等の 安全性に関する規制措置情報より – (抜粋)

2017年10月1日～10月31日分のJAPIC WEEKLY NEWS (No.621-624)の記事から抜粋

## ■米FDA

- opioid鎮痛薬のリスク評価・リスク緩和戦略 (REMS) (更新情報)  
<<https://www.fda.gov/Drugs/DrugSafety/InformationbyDrugClass/ucm163647.htm>>
- 米FDA、副作用報告へのアクセスを改善  
<<https://www.fda.gov/NewsEvents/Newsroom/PressAnnouncements/ucm578105.htm>>
- 血液関連施設に向けた、世界におけるジカウイルスの伝播リスクに関する重要情報  
<<https://www.fda.gov/downloads/BiologicsBloodVaccines/SafetyAvailability/UCM577904.pdf>>
- ヒト細胞、組織、細胞および組織由来製品 (HCT/P) 関連施設に向けた、世界におけるジカウイルスの伝播リスクに関する重要情報  
<<https://www.fda.gov/downloads/BiologicsBloodVaccines/SafetyAvailability/UCM577903.pdf>>
- 血管内グラフトシステム：医療従事者向けレター；使用に関連したType IIIエンドリーク  
<<https://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm577915.htm>>
- triamcinolone, moxifloxacinおよびvancomycin (TMV) 配合剤の眼内注射：米FDAの声明－出血性閉塞性網膜血管炎の症例  
<<https://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm578743.htm>>
- 乳児用スリーブポジショナー：米FDAの警告－窒息のリスク  
<<https://www.fda.gov/Safety/MedWatch/SafetyInformation/SafetyAlertsforHumanMedicalProducts/ucm578531.htm>>

## ■Health Canada

- Health Canadaがサーモグラムは乳房スクリーニング用乳房撮影の代替ではないことをカナダ国民に再認識させている  
<<http://healthycanadians.gc.ca/recall-alert-rappel-avis/hc-sc/2017/64636a-eng.php>>

## ■EU・EMA

- News and press releases：初めての公聴会により、EMAは公衆の参画に向けてさらなる一歩を踏み出す  
<[http://www.ema.europa.eu/docs/en\\_GB/document\\_library/Press\\_release/2017/10/WC500236061.pdf](http://www.ema.europa.eu/docs/en_GB/document_library/Press_release/2017/10/WC500236061.pdf)>
- News and press releases：医薬品の安全使用のための賦形剤に関する表示の改善  
<[http://www.ema.europa.eu/ema/index.jsp?curl=pages/news\\_and\\_events/news/2017/10/news\\_detail\\_002825.jsp&mid=WC0b01ac058004d5c1](http://www.ema.europa.eu/ema/index.jsp?curl=pages/news_and_events/news/2017/10/news_detail_002825.jsp&mid=WC0b01ac058004d5c1)>

## ■英MHRA

- miconazole (Daktarin)：OTCの経口ゲルはwarfarin投与患者に禁忌である  
<<https://www.gov.uk/drug-safety-update/miconazole-daktarin-over-the-counter-oral-gel-contraindicated-in-patients-taking-warfarin>>
- loperamide (Imodium)：乱用あるいは誤用に関連した高用量のloperamideによる重篤な心臓の副作用に関する報告  
<<https://www.gov.uk/drug-safety-update/loperamide-imodium-reports-of-serious-cardiac-adverse-reactions-with-high-doses-of-loperamide-associated-with-abuse-or-misuse>>

## ■仏ANSM

- 全ての組換えヒトepoetines：重度の皮膚反応に関する新たな警告－医療専門家向けレター  
<<http://www.anism.sante.fr/S-informer/Informations-de-securite-Lettres-aux-professionnels-de-sante/Epoetines-recombinantes-humaines-Nouvelles-mises-en-garde-sur-des-reactions-cutanees-severes-Lettre-aux-professionnels-de-sante>>
- 妊娠中に服用する医薬品のリスクに関する情報を強化するピクトグラムについて  
<<http://www.anism.sante.fr/S-informer/Actualite/Pictogramme-renforcant-l-information-des-femmes-sur-les-risques-des-medicaments-pris-durant-la-grossesse>>

## ■豪TGA

- 黒い逆三角形のスキーム (Black Triangle Scheme)：有害事象報告の促進が、新薬に関する全体像の構築の手助けとなる  
<<https://www.tga.gov.au/black-triangle-scheme>>

JAPIC事業部門 医薬文献情報(海外)担当

記事詳細およびその他の記事については、JAPIC Daily Mail (有料) もしくはJAPIC WEEKLY NEWS (無料) のサービスをご利用ください (JAPICホームページのサービス紹介：<<http://www.japic.or.jp/service/>> 参照)。JAPIC WEEKLY NEWSサービス提供を御希望の医療機関・大学の方は、事務局業務・渉外担当 (TEL 0120-181-276) までご連絡ください。

## 【新着資料案内 平成29年10月1日～10月31日受け入れ】

図書館で受け入れた書籍をご紹介します。この情報は附属図書館の蔵書検索 (<http://www.japic.or.jp/iyaku/index.html>) の図書新着案内でもご覧頂けます。これらの書籍をご購入される場合は、直接出版社へお問い合わせください。閲覧をご希望の場合は、JAPIC附属図書館 (TEL 03-5466-1827) までお越しください。

〈配列は洋書、和書別に書名のアルファベット順、五十音順〉

書名	著編者	出版者	出版年月
British National Formulary No.74 September 2017-March 2018	BMJ Publishing Group Ltd and Royal Pharmaceutical Society	The Pharmaceutical Press	2017年9月
British National Formulary for children 2017-2018	Royal Pharmaceutical Society	The Pharmaceutical Press	2017年9月
医療用医薬品識別ハンドブック 2018	医薬情報研究所 編	株式会社じほう	2017年9月
薬学の歴史 くすり・軟膏・毒物	アクセル・カーン 他著、 日仏薬学会、日本薬史学会 翻訳	薬事日報社	2017年10月

## 情報提供一覧

### 【平成29年11月1日～11月30日提供】

出版物がお手許に届いていない場合、宛先変更の場合は当センター事務局 業務・渉外担当 (TEL 03-5466-1812) までお知らせください。

情報提供一覧	発行日等	JAPIC作成の医薬品情報データベース	更新日
〈出版物・CD-ROM等〉		〈iyakuSearch〉 Free	<a href="http://database.japic.or.jp/">http://database.japic.or.jp/</a>
1. 「添付文書入手一覧」2017年10月分 (HP定期更新情報掲載)	11月1日	1. 医薬文献情報	月 1 回
2. 「一般用医薬品 (経済課コード)」2017年10月分 (HP定期更新情報掲載)	11月1日	2. 学会演題情報	月 1 回
3. 「JAPIC NEWS」No.404 12月号	11月30日	3. 医療用医薬品添付文書情報	毎 週
〈医薬品安全性情報・感染症情報・速報サービス等〉 (FAX、郵送、電子メール等で提供)		4. 一般用医薬品添付文書情報	月 1 回
1. 「JAPIC Pharma Report海外医薬情報速報」 No.1106-1110 (旧: 医薬関連情報速報FAXサービス)	毎 週	5. 臨床試験情報	随 時
2. 「医薬文献・学会情報速報サービス (JAPIC-Qサービス)」	毎 週	6. 日本の新薬	随 時
3. 「JAPIC-Q Plusサービス」	毎月第一水曜日	7. 学会開催情報	月 2 回
4. 「外国政府等の医薬品・医療機器の安全性に関する措置情報サービス (JAPIC Daily Mail)」No.4006-4025	毎 日	8. 医薬品類似名称検索	随 時
5. 「JAPIC Weekly News」No.625-629	毎 週	9. 効能効果の対応標準病名	月 1 回
6. 「感染症情報 (JAPIC Daily Mail Plus)」No.719-722	毎 週	〈iyakuSearchPlus〉	<a href="http://database.japic.or.jp/nw/index">http://database.japic.or.jp/nw/index</a>
		1. 医薬文献情報プラス	月 1 回
		2. 学会演題情報プラス	月 1 回
		3. JAPIC Daily Mail DB	毎 日
		外部機関から提供しているJAPICデータベース	
		〈株式会社ジー・サーチJDreamⅢから提供〉	<a href="http://jdream3.com/">http://jdream3.com/</a>
		〈株式会社日本経済新聞社から提供〉	<a href="http://telecom.nikkei.co.jp/">http://telecom.nikkei.co.jp/</a>

平成10年1月～平成28年12月承認分までの審査報告書の全文を収録!

# 日本の新薬

— 新薬承認審査報告書集 —

全87巻

### ◆最新の8巻を刊行。全87巻に!!

新薬96品目を追加し、全巻では1136品目を掲載。各巻22,000円(+税)

### ◆新薬開発、薬事・市販後対応、医学・薬学教育に!!

本書は、新薬の承認審査における厚生労働省の「審議結果報告書」および(独)医薬品医療機器総合機構等の「審査報告書」をすべて収録しております。

### ◆お得で便利なセットでの購入をお勧めします!!

全87巻セット **957,000円**(+税)

追加分8巻セット **88,000円**(+税)

※上記価格とは別に、JAPIC 維持会員様向けの割引価格をご用意しております。



一般財団法人 日本医薬情報センター (JAPIC) 編集・発行  
丸善出版 株式会社 発売

JAPIC <http://www.japic.or.jp/>

上記書籍の他、電子カルテやオーダリングシステムに搭載可能なJAPIC添付文書関連データベース(添付文書データ及び病名データ)の販売も行っております。データの購入希望もしくはお問い合わせはJAPIC (TEL 0120-181-276) まで。

## Garden

ガーデン

このコーナーは薬用植物や身近な植物についてのヒトクチメモです。リフレッシュにどうぞ!!

### あかざかずら

藜蔓と書く。別名:雲南百薬。学名:Anredera cordifolia (Ten.) Steenis。英名: Madeira vine。つるむらさき科あかざかずら属。半耐寒性蔓性多年草。南アメリカ原産。古い時代に中国から琉球列島に渡来。花期は秋から冬、白い小さな花をつける。葉や根は食べられるがシュウ酸を含有するので灰汁抜きする。根茎にはトリプタン阻害活性を有する蛋白Ancordinを含有。(hy)



JAPICホームページより  
<http://www.japic.or.jp/>

HOME

サービスの紹介

ガーデン

Topページ右下部の「アイコン」からも閲覧できます。